

第18回対馬少年の主張大会最優秀作品

十人十色

浅海中学校2年 原田^{れん}蓮^か華



セクハラ、パワハラ、モラハラ、マタハラ私たち子どもが毎日のように、「いけません。」と教えられる嫌がらせや差別は、近年、増える一方です。

私は、小さい頃、小さな小さな差別を経験しました。周りに男の子が多く、口調も好きなおもちもまるで男の子。そんな中で、男勝りな性格に育った私は、よく「女の子なんだから、もうちょっと女の子らしくしなさい。」と言われたものです。とくに悪いことをしたわけでもないのに大人から注意を受け、幼な心にも、ちょっとショックで落ち込みました。もちろん、私のためを思い注意してくれたのだと今は理解できますが、当時の私は、「自分らしさ」を否定された気がして、女の子らしさと自分らしさは、違うものなのか？と不思議に思いました。今でも、相変わらずのこの性格を指摘されることはありますが、今はそれも自分の個性だとわりきることになっています。

世の中には、その人らしさを許されないとくさんの差別が存在しています。ある日見かけたあるテレビの番組。今で言えば、激しいセクハラやパワハラをうけ、それにたえきれず戦う女性達のドキュメンタリーでした。「調子にのるな！」と、当時の社会から批判されながらも、決して、あきらめなかった女性達。こうして時代を切り開いていった人々の大きさにあらためて目をみはりました。つい五十年ほど前の社会には、「ハラスメント」という言葉さえ存在しなかったのです。

女性への差別が大きくとり上げられるようになる一方で、男性が差別されることも問題視されるようになりました。男だからという固定観念にとらわれて自分とは違う趣向をもつ人々を批判するなど、女性に限らず、男性にも差別はあるのです。

今、男女差別をなくしていこうという取り組み「ジェンダーフリー」という考えが広がって

います。これをもとに流行しているのが「ジェンダーレスファッション」です。これは性別にとらわれず、自由に、自分の好みの物を身につけていこうというものです。ユニセックスデザインのものも店頭に並ぶようになりました。

まず、世界には、たくさんの方がいるということ、心と体全体で認めなければいけません。当たり前のことですが、全く同じ人間は決して、存在しません。名前が違うように、容姿や性格も違うし、好みのものだって違います。違うと同時に、それぞれに良さがあるのです。「十人十色」です。私の色とあなたの色は違うから、より美しく見えるのではないのでしょうか。身の周りの人のステキな色を見つけていきましょう。学校の友達、会社の同僚、地元の人々など、たくさんの方がきっとカラフルに見えるのではないのでしょうか。

私は、自分の周りには、たくさん美しい色をもった人々たちを見つけて、おたがいの良さを理解し合っていきたいです。

あなたの色は何色ですか。

※原文のまま掲載

第18回対馬少年の主張大会結果

最優秀	浅海中2年	原田 蓮華
優 秀	豊玉中1年	平間 嵩志朗
優 良	佐須奈中2年	長崎 菜々子
入 選	東部中1年	浦瀬 絆
入 選	久田中1年	喜屋武 莉朱
入 選	豊玉中2年	藤原 莉子
入 選	仁田中2年	糸瀬 瑛喜一
入 選	大船越中2年	瀬川 ヒカリ
入 選	比田勝中2年	畑島 佑里奈
入 選	巖原中2年	西山 海和

(敬称略)